



(講演会後の懇親会での記念写真。養老先生、島田同窓会会長を囲んで)

養老孟司先生公開講演会開かれる

支部長 滝 龍雄

去る9月26日(土曜日)午後3時より、北里大学客員教授で、「バカの壁」のベストセラーでも良く知られています養老孟司先生の「これからのヒトと動物の共生社会について」と題した公開講演会が宇都宮グランドホテル平安の間で開催されました。

当日は天候にも恵まれ、入場者は、養老先生の著書等へのサインの受付が先着順ということもあり、講演会の遙か前から参集し始め、受付の開始を大分早めざるを得ませんでした。開会前には会場の平安の間は合計600名以上の支部会員、一般県民で埋まりました。同窓会の本部からも島田同窓会会長、針谷常務理事、大塚同窓会事務局長が宇都宮に来て下さいました。

定刻の午後3時、福田さんの司会で会が始まり、栃木県支部長の挨拶後、講演が始まりました。

まずは、言葉の力から始まり、縦横に演壇を歩き回りながら先生の子供時代の体験に基づいた持論を、楽

しい話術で披露され、聴衆を養老ワールドに惹き込みました。予定していた1時間があっという間に過ぎ去りました。講演後、会場の聴衆よりの様々な質問にも丁寧にお答え頂きました。最後に鈴木運営委員がお礼を述べて、約1時間半の講演会が無事終了しました。



(講演の前、養老先生を囲んで。前列中央：養老先生、後列右端：島田同窓会会長、後列右から2人目：針谷同窓会常務理事、前列左端：大塚同窓会事務局長)



(講演中の養老先生。演壇を縦横無尽に動き回り、記録係を悩ませました。)

講演終了後は場所を移動し、養老先生、同窓会本部より来宇頂いた島田同窓会会長、針谷常務理事、大塚同窓会事務局長も含めて 40 名以上の方々に御出席頂き、岸運営委員の司会で懇親会が開かれました。

懇親会では、久しぶりに会う同級生、先輩、後輩が入り乱れ、旧交を温めたり、近況報告をしたりと、瞬く間に予定の2時間が過ぎて行きました。養老先生、本部から参加して頂いた3名の方は東京方面に帰られるため、少し早目に会場を後にされましたが、その前に、出席者で記念写真を撮りました。



(以上、懇親会で養老先生を囲んでの記念撮影)

受付や会場整理には運営委員以外にも多くの支部会員の方々にご協力を頂きました。有り難う御座いました。

養老孟司先生の講演を聞いて

高橋紀子

北里大学同窓会栃木県支部の皆様、素敵な講演会を開催して頂き有り難う御座います。昔から本を通じて憧れていた養老孟司先生の公開講演会を企画して頂き心から感謝しています。

講演は、養老先生と栃木県の係わりから始まりました。養老先生は度々、趣味(?)の蝶や昆虫の研究で日光や那須にはいらしているようですが、講演会は記憶にないという事でこの講演会は貴重な機会でした。

養老先生は戦前生まれの軍国少年で、子供の頃には特攻隊に入るのが希望だったとか。戦争が、敗戦という形で養老先生が特攻隊に入隊する前に終わって良かったです。長生きして頂いて、世の中に色々警鐘を鳴らして下さいますから。でも、結局、養老先生は、戦時中に少年期を過ごし、敗戦を体験し、それまでの特攻隊を志願していたのは何だったのだろうと感じたそうです。

先生は、身近な昆虫の話から始め、これからの日本や世界の話に広がって行きました。今の日本は飽食の時代とか言われていますが、養老先生が体験した少年時代の貧しさを考えると、これから地球温暖化を防ぐために化石燃料を使わなくなっても、少年時代に帰るみたいなものなので特に苦痛も何もないと仰っていました。同じ世代(養老先生とは少し下の世代ですが)の者として、実に同感でした。

養老先生は非常に活発に演壇を動き回り、実にエネルギーを感じました。とても若々しく、生きがいを持って活動している様子が覗えました。私も、生きがいを持って生きていこうと強く感じました。

有意義な機会を有り難う御座いました。

公開講演会アンケートの集計結果 (全 355 件)

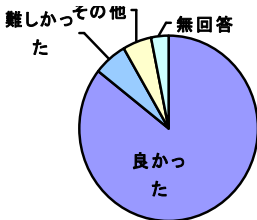
1 : 今日の講演会は如何でしたか?

① 内容

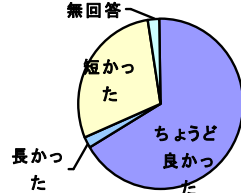
ちょうど良かった 304名 難しかった—21名
 その他——19名 無回答——11名

② 講演時間

ちょうど良かった 235名 長かった——8名
 短かった——103名 無回答——9名



① 内容



② 講演時間

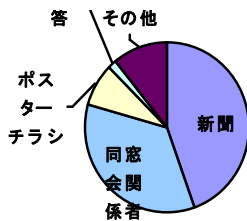
講演の内容については、難しかったという方も若干居ましたが、大部分 (約 86%) の方がちょうど良かったという回答でした。又、講演時間はちょうど良かったという方が3分の2を占めました・・・が、短かったという方が 30%近くいたという事は、マイクの調子が良くなって聞きづかった割には、養老先生の講演に聞き入って時間の経つのも忘れたということでしょうか?

2 : 今日の講演会は何で知りましたか

新聞——158名 同窓会関係——124名
 ポスター・チラシ——29名 その他——38名

3 : 北里大学はご存知ですか

知っていた——354名 知らなかった——1名



2 : 講演会を知った理由 3 : 大学を知っている
 新聞で講演会を知った人が一番多くなりましたが、同窓会関係者から聞いたという方も多く、同窓会関係者の広報活動に感謝します。実際に入場申し込みは、9月始めに下野新聞に講演会の紹介記事が掲載された後に殺到しました。栃木県と言うと、下野新聞の影響力の大きさを感じます。

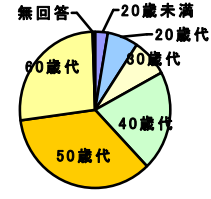
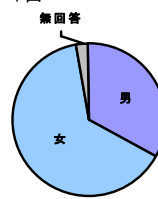
又、殆どの方が北里大学を知っていました。偶々なのか気になりますが、県内の全員の方に知って頂けるよう努力したいと思います。

4 : 性別

男性——116名 女性——229名
 無回答——10名

5 : 年齢

20歳未満——10名 20歳代——23名
 30歳代——28名 40歳代——73名
 50歳代——125名 60歳代——94名
 無回答——2名



講演会に出席して頂いた方は女性が3分の2でした。年齢層は圧倒的に40歳代以上の方が多く8割以上で、養老先生のファン層と重なるのでしょうか。

ご意見、ご感想など

音響が悪く、聞きにくかった
 人間の在り方を考えさせられました
 余り内容が役立たない。質問コーナーが良かった。
 事実と言葉の話が面白かったが、題と内容が違う。
 演題を「〇〇先生トークショー」としたら良かった。
 話が具体的にしてほしい。
 正面2台のスクリーンで気が散った。
 演題と内容が少し違う (専門的すぎ、学問的すぎ)
 講演要旨があれば良かった。
 著書の販売が欲しかった。

今後開催してほしい講演会

今後の中国人との付き合い、環境問題、新しい医療、理科系の研究、インフルエンザ、世界情報、高齢化社会、動物との接し方、家畜動物に関して、がん対策、脳死、日本の資源の有効利用

講師等の希望

養老孟司 (9) 茂木健一郎 (7) 日野原重明 (4)
 以下3人: 曾野綾子 内田 樹 藤原正彦
 以下2人: 田原総一郎 柳田邦夫 石森久嗣
 デーブ・スペクター
 以下1名: 渡辺純一 竹村健一 佐々木正美
 神田橋先生 北島康介 南 直哉 大前研一
 畑 正憲 でんじろう 矢追純一 中田英俊
 田臥勇太 小川三夫 立松和平 鎌田先生
 東 昇 林 建良 (塩の室診療所長) 福原義治
 福岡伸一 有田秀徳 天野恵子 村上和雄
 CW ニコル 藤原照信

これらのアンケートの結果を、今後の活動に生かしていく予定です。ご協力有り難う御座いました。

(担当: 広瀬英敏、齋藤けさよ、芝田周平)

養老孟司先生公開講演会 DVD の分与について

事務局 塚原訓子

去る 9 月 26 日に開催されました養老孟司先生の公開講演会を収録しました DVD が出来ました。会員の手で作りましたので、必ずしも十分な出来とは言えませんが、希望される方にお分けします。分与を希望されます方は、事務局まで電話またはファックスでご連絡下さい。費用は無料です。申し込み多数の場合には、DVD 作成のために少々お待ち頂くかも知れません。

支部事務局

〒321-0974 栃木県宇都宮市竹林町 911-1
済生会宇都宮病院医療技術部臨床検査科
北里大学同窓会栃木県支部（北里会）事務局
Tel 028-626-5500 内線 3207、Fax 028-626-5646

北里大学同窓会支部懇談会報告

運営委員 岸 善明

11 月 21 日（土）に東京新宿の京王プラザホテルで開催された北里大学同窓会支部懇談会に、所用で出席できなかった滝支部長の代理として参加しました。では、色々と参考になる事がありました。

現在、支部が出来ているのは全体の半分位で、会員の圧倒的に多い東京や神奈川、埼玉には支部が出来ていない現状が報告された後、各支部の活動報告があった。栃木支部に関しては、昨年から、活動を再開し、この 9 月には 600 名以上の参加者のもと、養老孟司先生公開講演会を開催したことを報告した。公開講演会では本部からも開催の助成を頂き、又島田会長以下 3 名の方に出席して頂いたことに謝辞を述べた。

当日、本部から支部に対する活動支援として

- 1) 活動休止支部への積極的支援（新規）
活動を休止している支部が活動を再開する際、支部援助金を 3 年間 10 万円支給できるようにした。
- 2) 支部主催の企画行事への支援（継続）
支部企画行事への積極的取り組みを図るために、財政的支援を行う。
- 3) 新しい範疇の同窓会支援団体の検討（新規）
職場、職域等を中心とした団体を、同窓会支援団体として認める方向で検討を進める。
- 4) 本部「会報」及び支部「会報」執筆者への謝礼
本部「会報」では 3000 円の図書券、支部「会報」では 1000 円の図書券を出す。

「北里大学同窓会 別奨励賞」候補者募集

北里大学同窓会では「同窓会会員で、学術、文化、スポーツ、芸能等の活動で、北里大学並びに北里大

学同窓会の名を広く社会に知らしめた人に、その功績を讃える」という事で「北里大学同窓会 特別奨励賞」受賞者を公募しています。「特別奨励賞」に該当する活動を行っている会員を支部長名で推薦できます。適当な方が居ましたら至急事務局までご推薦下さい。推薦には

- ・特別奨励賞推薦書
- ・活動状況（内容）等の分かる資料が必要になりますので、お早めに。

定例総会及び講演会のお知らせ

支部長 滝 龍雄

一昨年（2008 年）、活動を再開しました北里大学同窓会栃木県支部の定期総会、講演会、支部会員懇親会を 7 月 4 日（日曜日）の午後、開催します。

2010 年 7 月 4 日

北里大学同窓会栃木県支部総会

- ① 今期の活動報告
- ② 今期の会計報告
- ③ 新役員の選出
- ④ 次期の活動計画
- ⑤ その他

北里大学同窓会栃木県支部講演会

「北里大学の拠って立つ所：北里柴三郎博士の業績と人となり」

講師；北里一郎先生

（北里大学評議員）

北里大学同窓会栃木県支部会員懇親会

北里一郎先生は北里柴三郎博士の孫に当たります。明治製菓代表取締役社長・会長を歴任し、現在は明治製菓の最高顧問です。大学でも、一年生に「人間形成の基礎科目」社会の領域「医療学概論；学祖北里柴三郎先生」の講義をされています。

皆様、7 月 4 日の午後を空けておいて下さい。総会関連の詳細は追ってお知らせします。

石森久嗣君、衆議院総選挙で当選

8 月 30 日に行われた第 45 回衆議院議員選挙で栃木 1 区より立候補した栃木県支部の会員である石森久嗣君（民主党公認）が、見事に初当選を飾りました。北里大学の卒業生としては初の国会議員の誕生です。

石森君は平成 6 年に医学部を卒業後、済生会宇都宮病院や大田原赤十字病院などで脳外科医として地域の医療に貢献していました。

今後は、国民のために国会で十分にメスを振るってもらいたいものです。（文責 滝 龍雄）